

今治市・しまなみ海道から発信するインキュベーションプログラム

Bari Challenge University

バリ チャレンジ ユニバーシティ 2016

報告書

BARI CHALLENGE UNIVERSITY REPORT

バリチャレンジユニバーシティ実行委員会

開催概要

主催/バリチャレンジユニバーシティ実行委員会
会期/8月26日(金)・27日(土)・28日(日)
場所/みなと交流センター
最終発表会/今治地域地場産業振興センター
参加人数/102名
参加料/無料
参加資格/県内外の学生・若者・社会人

インキュベーションテーマ/

- FC今治のオーナーとして複合型スタジアムを構想し、今治を活性化せよ
- ①交流人口を増やし、スタジアム規模1万5千人を毎回満員にすること
 - ②施設・商品・サービスを組み合わせ、今治の新たな核をつくること
 - ③アイデアを導き出す、理念・ビジョン・提供価値を明確にすること

スケジュール

8月26日(金)

12:00~ 受付
13:00~ 入学式
13:30~ ワーク0
岡田武史・田坂広志
「バリチャレンジユニバーシティに対する想い」
14:00~ ワーク1
オリエンテーション
アイスブレイク
14:30~ ワーク2
フィールドワーク
今治スポーツパーク見学
18:00~ オープニングパーティー
はーばりー4F ターミナル02にて
20:00~ ホテルチェックイン

8月27日(土)

8:00~ 朝食
9:00~ ワーク3
11:30~ 昼食
12:30~ パネルディスカッション
「俺達のスタジアムビジネス」
岡田武史・青野慶久・山崎 亮
14:30~ ワーク4
17:00~ 夕食
18:00~ ワーク5
中間発表
20:00~ 自由解散

8月28日(日)

7:00~ 朝食
8:00~ ワーク6
10:30~ 移動&昼食
11:30~ 全体写真撮影
12:00~ 発表会
13:30~ 講評・表彰式
14:00~ 修了式
14:30~ 解散式
15:00~ 解散

俺たちのスタジアムビジネス

開催日時:8月27日(土)12:30~14:30 実施場所:はーばりー みなとホール

今治にサッカースタジアムが出来るという仮定のもと、試合開催以外の活用・集客方法を講師陣と参加者が意見を出し合い一緒に考えました。どうすればスタジアムをワクワクする魅力的な場所に来れるのか、その仕組みをデザインする授業を行いました。(※今治JC主催事業)

【パネラー】

岡田 武史 FC今治オーナー/株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長
青野 慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長
山崎 亮 株式会社studio-L 代表

Bari Challenge University 公開講演 (市民向け講座) 開催日時:8月27日(土)15:00~18:30 実施場所:今治地域地場産業振興センター

Bari Challenge Universityの講師陣が経験に基づいた深い知見と幅広い見識をもとに、3つのセッションに分かれてパネルディスカッションを行いました。市民の皆様との質疑応答も行い、来場者の見識を深めるものになりました。

第一部：スポーツと金融

海外のスポーツビジネスでは、巨額の資金が投資されていますが、日本のスポーツビジネスにおいて金融面からのアプローチは必ずしも十分とは言えない現状があります。金融サービスやテクニックをスポーツビジネスに応用できるか、既存のスポーツビジネスを支援し発展させ、さらには新しいビジネスチャンスを創出することができるか、そして地方の発展に資することができるかについて、議論されました。

【登壇者】

ファシリテーター	小泉 泰郎	株式会社FiNC 代表取締役副社長 CFO兼CSO/株式会社お金のデザイン社外取締役/whill 株式会社 アドバイザー
パネリスト	高野 真	株式会社アトミックスメディア 代表取締役CEO/フォープス ジャパン編集長
パネリスト	桂田 隆行	(株)日本政策投資銀行/早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員
パネリスト	矢野 将文	株式会社今治、夢スポーツ取締役社長

第二部：スポーツと地方創生

賑わいを創出するスポーツは、コミュニティ再生、交流人口の拡大、産業振興など、地方が向かいあう課題を解決します。ビジネスや社会起業などの分野でご活躍の識者が、スポーツを生かしたまちづくりを進める今治で、スポーツが地方創生に寄与する可能性を語りました。

【登壇者】

ファシリテーター	間野 義之	早稲田大学スポーツ科学学術院教授・博士(スポーツ科学)
パネリスト	中島 正樹	テロイトトーマツコンサルティング合同会社 パートナー
パネリスト	鈴木 寛	東京大学教授/慶應義塾大学教授 /文部科学大臣補佐官/社会創発塾塾長/日本サッカー協会理事/元文部科学副大臣
パネリスト	青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長
パネリスト	岡田 武史	FC今治オーナー/株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長

第三部：スポーツと人材育成

人がスポーツを楽しみ、そして、スポーツの可能性をひろげます。また、スポーツを通して新しい価値観を創り、世界全体の新しい成長の形を創るのも、人次第です。各界で社会起業的活動などをけん引する識者が、スポーツと人材育成について、考えや夢を語り合いました。

【登壇者】

ファシリテーター	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
パネリスト	鈴木エドワード	建築家/鈴木エドワード建築設計事務所代表
パネリスト	宮城 治男	NPO法人ETIC.代表理事
パネリスト	岡田 武史	FC今治オーナー/株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長

地方創生塾「未来を拓く君たちへ」

これからの未来を担う若手社会人を中心に、「真の地方創生」についての考え方・哲学・ビジョンを学んでもらうと同時に、自己を高め自分自身と地域の未来について考えてもらう講演を行いました。(※今治JC主催事業)

【講師】多摩大学大学院教授 工学博士/シンクタンク・ソフィアバンク代表/社会起業家フォーラム代表 田坂 広志



名誉学長
今治市長 菅 良二

このバリチャレンジユニバーシティは、皆さんのような若い方の自由な発想から生まれた新しいチャレンジの種を、人的支援や資金助成など今治地域独自のサポートによって芽吹かせ、地域活性化につなげよう、担い手を育成しようという思いで開催しました。3日間という時間は、これから皆さんの大きな財産となる友との出会いの機会としても有意義なものとなったのではないかと考えています。今治市が将来にわたって活力を維持していくため、みなさんからいただいたこの貴重なアイデアを、次の時代の方にしっかりと受け継いでもらうことのできるまちづくりに活かしていきたいと思っています。そして、みなさんにはいつかまたこの今治の地で、そのお力を役立てて欲しいと願っています。



学長
FC 今治オーナー 岡田 武史

事の発端は、FC今治の豪華なアドバイザーの人達の熱から始まりました。皆で話す中で浮かんだキーワードが「日本中の若者が今治に集まり、今治の若者と化学反応を起こし今治が炎上する」というイメージでした。市役所や今治青年会議所はじめオール今治体制で運営するBCU構想ができ、ネットで参加者を募集したところ定員を大きく超える445名の応募があり先ずびっくり。夜を徹して取り組んでくれた若者の熱に2度目のびっくり！そして、最終日の発表の質の高さにびっくりを乗り越えて感激！これを一過性のイベントで終わらせる事無く、今治の若者がホストとなり参加メンバーが再び今治に戻ってくるそんなスキームを創りたいと思っています。関係者、参加者すべての人達に感謝、感謝、ありがとう！



実行委員長
公益社団法人 今治青年会議所 第51代理事長 西原 孝太郎

今回、「次代を担う若者が全国から今治に集い、ここから新しいチャレンジをスタートしてもらいたい」という想いを実現するべく開催日当日まで全力で走りました。この想いに共感した様々な団体の皆様の絶大なご支援ご協力のもと、オール今治体制を目指して一致団結できたからこそ運営できたと強く実感しています。実行委員会をはじめ、運営主体の幹事会や後援・協力・協賛していただいた全ての関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。本事業を通じて、関係する全ての方々が当事者として地方創生について真剣に考え、さらに積極果敢に挑戦する未来の宝を育成する一助になる事を祈念しましてお礼のご挨拶とさせていただきます。



講師代表

多摩大学大学院教授 田坂 広志

各チームのアイデアとプレゼンは、いずれも期待以上のものでした。そして、各チームのメンバーが、互いの信頼と敬意を持って、真摯に熱くアイデアを語り合っている姿が素晴らしかったです。次はアイデア具体化の段階ですが、オープニング・トークでも述べたように、この今治地域の「ボランティア経済」と「目に見えない資本」を活用する戦略を大切に。その戦略の鍵は、皆さんの志と使命感です。私もBCUで大きな勇気を頂きました。



講師
建築家
鈴木エドワード

【ワークショップ】100人以上の学生さん、社会人が初めて出会い、7人構成のチームで活発な議論を繰り広げていたシーンはとても活気に溢れ感心するものだった。意見が必ずしも合うわけではない7人が3日だけで合意に達し、提案を用意し、演出力たっぷりのプレゼンテーションを行ったことを大いに評価する。

【市民向け講座】岡田代表はじめ、アドバイザーボードメンバーが、それぞれ自分の立場から意見、アドバイスを与えたことは若い世代にとって大きな刺激になったに違いない。

【企画そのもの】

「初めての試みで、多大な不手際があったのでは」という懸念は全くあてはまらず、岡田さんはじめスタッフの動きにはただただ感心した。強いていえば、市民講座とワークショップが重なり、同時進行したことが多少もったいなく感じた。

講師

早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之

これからのスタジアムは、街中立地かつ多機能複合型で持続可能な『スマート・ベニュー』が求められている。そのためには、年間30日程度の試合開催日の収益力はもとより、試合がない335日にどのように稼ぐかが重要となる。各チームともスタジアムのスマート化を意識した企画が多々見られた。最新のテクノロジーを駆使した企画から、ローテクのほのぼのとした企画まで、各チームが趣向を凝らしオンリーワンを目指した幅広い提案があったのは、嬉しい限りでした。



講師

サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野 慶久

たいへん刺激的な3日間でした。所用で学生との議論にほとんど参加できなかったことが心残りですが、最後の発表では素晴らしいアイデアの数々を聞き、頼もしく感じました。特別賞のメンバーは今度東京に集まっていたら、さらに刺激ある場を提供する予定です。ぜひ継続していただきたいですが、運営スタッフが無償で活動するには無理がある規模ですので、今後は資金的に持続できる形にシフトしていくのがよいかと思います。

講師

東京大学教授 鈴木 寛

素晴らしかったの一言に尽きます。岡田オーナー、今治青年会議所、今治市役所はじめ準備を担当されたすべての皆さんに心からの敬意と感謝を申し上げます。岡田オーナーを慕って、全国の最優秀の学生が445人も応募があり、その中から100人の優秀な人材をえりすぐり、そして、その100人が大変な充実感をもって今治をあとにしたこと、このことをもって、大成功です。もちろん、途中では、いろいろな課題はあったと思いますが、終わりよければすべて良しです。今後の提案としては、東京や大阪でいいのですが、今回参加した学生100人が岡田オーナーやFC今治のアドバイザーと再会できるような機会を半年後をめどに作るというのはいかがでしょうか？





講師

株式会社 FiNC 代表取締役副社長 CFO 兼 CSO **小泉 泰郎**

初めてのイベントで色々ご苦労もあったとは思いますが、参加者全員の熱い思いには深く感動いたしました。結局は実現させることが全てかと思っています。単純なコンペ倒れになることなく、しっかりと小さなところからでも着手していくことが極めて重要だと感じており、提案を受けた我々にその責任があると感じました。



講師

シンクタンク・ソフィアバンク代表 **藤沢 久美**

「今治には大学がない。だから若者が今治を離れてしまう。」

岡田オーナーのその一言から、「じゃあ、今治に全国の大学生を集めよう」と声が上がった。文科省認可の大学をつくるのではなく、選りすぐりの大学生たちを今治に集めてしまうという逆転の発想。結果は、大成功だと思う。全国から集まった若者たちが、スタジアム作りを自分ごとのように話し合い、今治を自分の故郷のように盛り上げたいと語るその姿は、感動的だった。若者たちが真剣に取り組むことができたのも、今治の大人たちの静かなサポートから何かを感じ取ったからだと思う。

今治は、日本で初めて、オーナーシップを持つ普通人たちによるスポーツを柱にしたまちづくりが実現するに違いない。

講師

キャスター **国谷 裕子**

今回のイベントでは、初日しか参加出来ず残念でした。

最終日のプレゼンが素晴らしかったとお聞きし、嬉しく思います。参加された皆さんの取り組む姿を見て、若い方々はぐんぐん学び伸びていくのだろうと感じました。今後が楽しみです。



講師

NPO 法人 ETIC 代表理事 **宮城 治男**

素晴らしい機会を本当に有難うございました。ご準備は突貫工事でたいへんだったかと思いますが、とても大切な一歩が踏み出されたのではと思います。アドバイザーメンバーとも話していましたが、やはりこの場をつくるみなさんの想いが、結果的にあの場を熱く、かけがえのないものにしていただけました。学生たちの発表の質も素晴らしかったと思います。



講師

株式会社アトミックスメディア 代表取締役 CEO **高野 真**

少子高齢化の中で地方経済の先行きが危ぶまれる中、若い人達が各地から集まり活気ある議論を提供したことの意義は大変大きいと思います。スポーツと地方と若者のシナジーの高さを改めて感じました。今後も継続することを願っております。



講師

(株) 日本政策投資銀行 **桂田 隆行**

まずはBCUの開催にご尽力されました株式会社今治・夢スポーツの皆様にご感謝と御礼を申し上げます。株式会社今治・夢スポーツが有するネットワークを活用して、市民向け、またやる気のある学生達に向け、なかなか聞くことのできない先進的な講演会を今治で開催することは、ホームタウンへの地域還元としても非常に意義ある機会だと思っております。今後も是非継続されますことを願っております。

講師

デロイトトーマツコンサルティング合同会社 パートナー **中島 正樹**

素晴らしい企画でした。全国から集まった若者たちと異分野から集まった講師陣が、各々遠慮なく知恵を出し合い、提案にまとめ上げた密度の濃い時間が、既存の枠を超え、今治から世界にも届くような社会の新たなエネルギーを生み出したと感じます。この勢いを是非次回のBCUにつなげて行きましょう。私も引き続き応援します。



講師

studio-L 代表 **山崎 亮**

学生たちの提案、会場に集った方々の熱気、岡田さんのビジョン。今回のような集まりを繰り返すことによって、今治が目指すべき未来が多くの人たちに共有されるようになるでしょう。これからの今治が楽しみです！



第1班

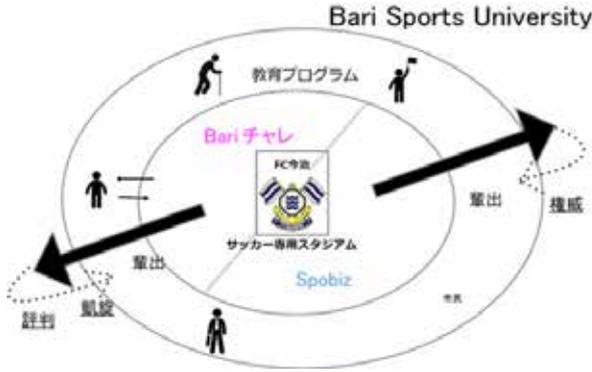
井伊泰之・京極勇人・清藤南・杉山泰彦・林龍奇・松尾怜治
ファシリテーター 桑村美奈子

「スポーツ×教育」で人が育つ新都市計画

今治全員で教育を

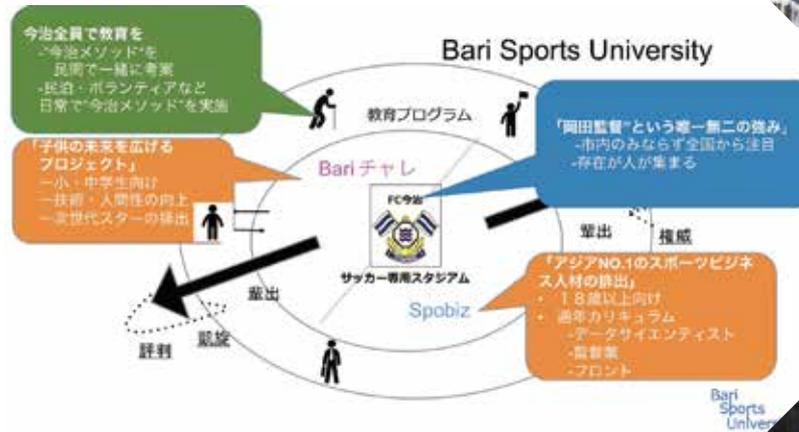
”今治メソッド“を民間で一緒に考案
民泊・ボランティアなど日常で”今治メソッド“を実施

Bari Sports University



「子供の未来を広げるプロジェクト」

小・中学生向け
技術・人間性の向上
次世代スターの排出



「アジアNO.1のスポーツビジネス人材の排出」

18歳以上向け
通年カリキュラム
データサイエンティスト
監督業



2050年での市全体ユニバーシティ構想を目指す



第2班

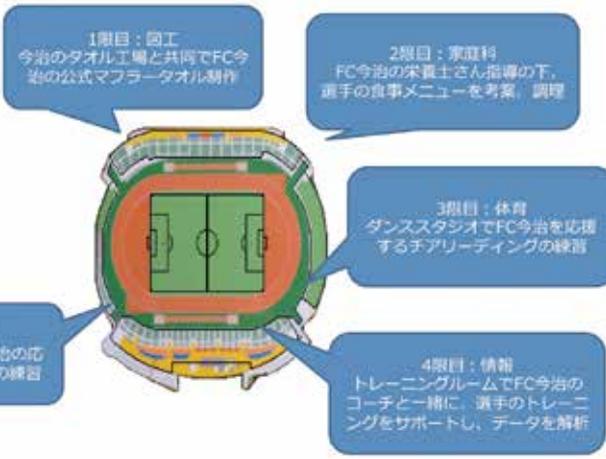
大谷美有・荻野紘・小林直貴・柴原健輔・高橋広樹・富田湧・吉平芽衣
ファシリテーター 瑞田信仁

学長賞

今治の小中高生がFC今治のスタッフに ～20+345日 スタジアムに熱狂を生む～

今治市の小中高校の授業プログラムと連携し、スタジアム施設を利用した授業を通年実施する。

時限	科目
1	図工
2	家庭科
3	体育
4	情報
5	音楽



試合を子供の成果発表の場とすることで、家族観戦を促進する。

私の作った朝ごはん、〇〇選手が食べてるんだよ！
ハーフタイムに踊るから見ててね！
あのタオル私のデザインだよ！

想定集客数

ロードマップ



- 2017 • カリキュラムの策定
- 2018 • 市民とのワークショップ、協議
- 2019 • カリキュラムの修正
- 2020 • 自治体との折衝
- 2021 • 建設計画の策定、カリキュラム実施
- 2023 • スタジアム施設完成
- 2024~ • 今治メソッドを世界に



第3班

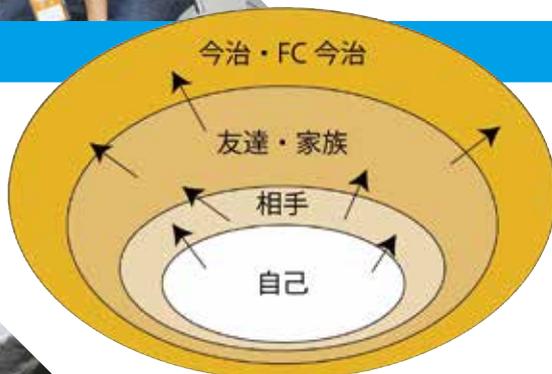
安宅未来・池田瑞姫・気仙誠・佐々木雄太・城村洸介・園田玲於・高橋大地
 ファシリテーター 田中大



日本一のデートスポット今治

スタジアムを愛が育む場に

デートスポットとは
 様々な愛を育む場
 恋愛・家族愛・地域愛・FC今治



サポーターストーリー スタジアムに来た人が繋がるきっかけを作るもの




スタジアム来場者数(2023年)

<p>① 今治×サッカー好き 4,000 現在のFC今治観戦客数の2倍</p>	<p>② 今治×サッカー以外 6,000 今治市生産人口の6%</p>
<p>③ 日帰り圏(松山・広島) ×サッカー以外 3,000 平成26年度日帰り客数の2%</p>	<p>④ 一泊二日以上×サッカー以外 2,000 平成26年度宿泊客の5%</p>



第4班

馬越三奈・加藤秀和・新谷陽一・高尾明香里・小林忠広・中村仁哉・萩森春弥
ファシリテーター 洪貴文

今治でつながる、今治とつながるスタジアム

相席シート：男性が倍の料金を支払い女性一人が無料



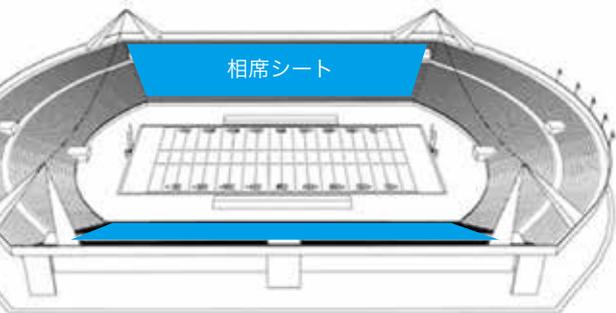
Appダウンロード
相席チケット購入



Appダウンロード
相席チケット購入



試合一週間前 (チケット購入)	SNSを連携させるほどマッチングが正確に
当日 18:30 (入場)	アプリをゲートにかざすとマッチング相手のプロフィール座席が表示
試合中	アプリから共通の話題(マッチングの理由)を表示
試合後	アプリで複合施設、今治市内のお店の情報が探せるレビューが着いて、一般旅行者も使えるアプリになる
翌日以降	マッチング相手とチャット開始 定期的に今治のイベント情報、おすすめスポットが流れる 今治の最適な求人情報をサジェスト



第5班

青野新・川島志月・小林穂乃香・竹内裕人・成田航平・村上野乃香
ファシリテーター 達見圭介



サッカーフェスの街、今治 ～瀬戸内のエンターテイメントの中核誕生～

フェスを開催する理由

- 今治市内、周辺地域に県内外の人たちが遊べる施設がない
- 子供からお年寄りまでの世代が同じ場所で遊べる場所がない
- 一日中遊ぶことができる施設がない



60km圏内に競合するエンターテインメント施設がなく、その需要は高い
 日本には「フェス文化」が受け入れられる土壌がある。
 フェス x サッカー観戦を融合した複合スタジアムで年齢・性別問わず
 楽しむことができる

→市内外から広く人を引き付け、1.5万人が毎回超満員に



第6班

小寺弘起・難波佳希・宗方怜・村上弘美・本橋儀貞・山崎優有菜・與口直樹
ファシリテーター 金子裕



スポーツ×先端技術特区→今治スタジアム
今治駅⇔新都市入り口 船型ロープウェイ

新都市にデジタルデザイナーとIT企業を誘致

スタジアム中心の世界最大
デジタルアートテーマパーク



世界一長い
拡張現実空間が広がる



先端技術×スタジアム

スタジアム内
→AR・VRシステムでサッカー観戦



未来予想図

コンテンツの充実

techアートを
きっかけにサッカーにも



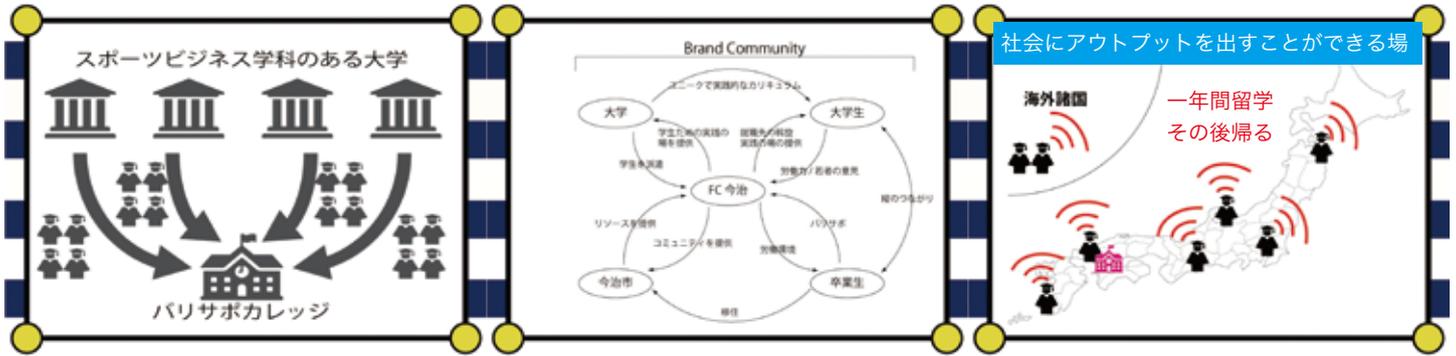
今治が**世界一**のスポーツ×テクノロジーの町に。

第7班

越智琴音・狩野尾尚磨・河北善紀・柴田えりな・高橋貴大・那口誠・藤岡良輔
ファシリテーター 藤本倫史

バリサポ カレッジ プロジェクト

プロジェクト計画/phase1:2017年~2022年 バリサポカレッジを開校



プロジェクト計画/phase2:2023年~2025年 Stadium on the SEA オープン



プロジェクト計画/phase3:2026年~ スタジアムに15,000人集客!



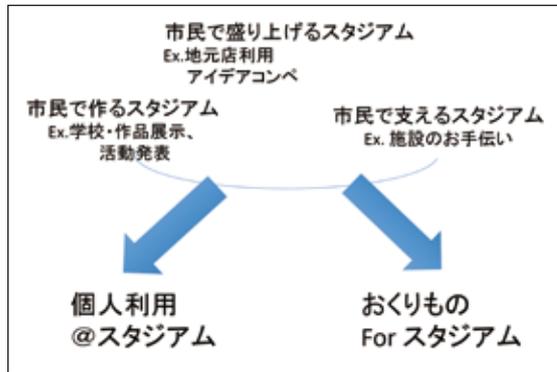
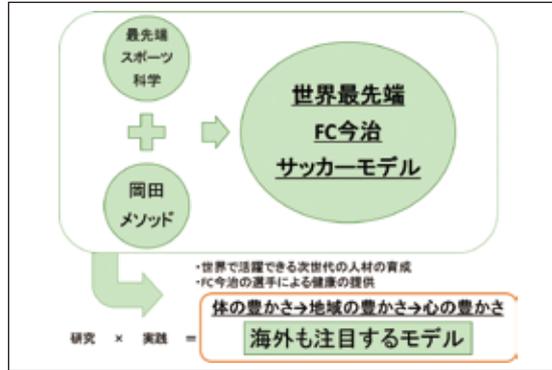
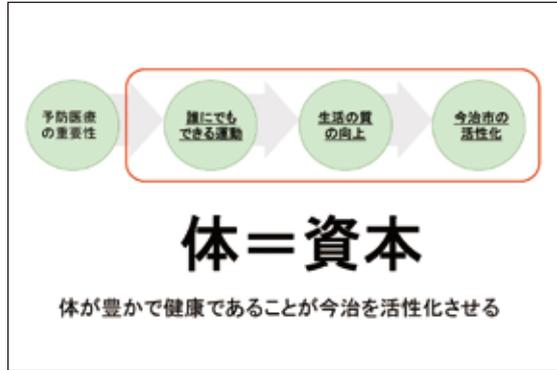
第8班

芥川翔一郎・井久保幹太・白井隆長・堀本えみり・村田幸優・森實健太・横山由季
ファシリテーター 錦織真也

究極の心と体の豊かさを体現できる街 体の豊かさ→健康 心の豊かさ→バリエーション

体の豊かさ

FC今治とアスリート育成



- なぜ、船なのか？
- ①インフラフリー
 - ②動くコミュニティー
 - ③今治らしさを活かせる

究極のいきいきわくわくシティ



第9班

阿部将史・井上天馬・上野碧記・菅敦雄・原ひかり・眞鍋朋子・渡邊文雄
ファシリテーター 伊狩亮太



世界を体感できるスタジアム

世界の有名選手を呼び込みます

Magic Leap

スタジアムを利用しウイングイレブンの大会

現実に様々なものを投影するMRデバイス Magic Leap を利用して FC 今治のスタジアムに世界中の選手を呼び込みます。



バーチャルとリアルの融合

練習試合



モーションキャプチャ
ウェアラブルデバイス
データ解析 etc...

チームデータの取得

練習試合するなら
IMABARI

全国、世界から
サッカーチームが
今治に集まる

サッカーファンも
今治に集まる



第10班

石丸茉莉・澤田一翔・須藤啓志・高木更花・光長裕紀・山内皓貴・山之内康介
ファシリテーター 萩原知祥

いいねで作るスタジアム



Like

「リアルタイムいいね」

スタジアムにいる人、その外にいる人と感情を共有しあうことができ、その感情によって、選手、サポーター、運営側間で様々なサービスが生まれるシステム



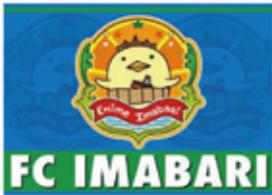
- ① マイクで音声を拾う方法
- ② 視線が特定できる端末で確認
- ③ タブレット端末、ボタンなどで確認



顧客情報の集積に活用する観戦用バスカード

- ・入場用ICカード
- ・性別、年齢、職業
- ・お住まいの地域
- ・イイネ数
- ・好きな選手

Bari number card



スタジアム観戦が変わります！

① チケット購入の在り方が変わる！

いいね数に応じた価格設定



(今まで)
決められた値段のチケット

自分の満足度で価格を決められる

② サッカーを見る視線が変わる！

観戦初心者が、「良いプレイ」を知る事ができる



「良いプレイ」を発見できる楽しみに

自分1人の目標 → ツウの目標がわかる

③ 選手の評価基準が変わる！

いいねを通じて、影の部分にも光が当たる！

(今まで)ゴール、アシストのような指標主体の評価



定臭い守備、フェアプレーなどのように、数字では、はかりにくかったプレー価値が評価される様になる！

④ ファンとファンの関係性が変わる！

いいねを通じて、応援に共感しあえる仲間が増える

(今まで) 他人同士のサポーター



⑤ ファンと選手の関係性が変わる！

いいね数に応じた交流特典

「選手と、〇〇さん」

(今まで) 「内田選手」と「会場の皆さん」の関係



⑥ マーケティングの在り方が変わる！

個人専用カードを活用した顧客情報の集積

「誰」に「何」が刺さるかわかる様になる！



(今まで) 押し売り → 直販に変わる！



第11班

菅直行・近藤佑太郎・関谷茜里・藤田彩月・三宅辰実・村上大樹
ファシリテーター 香川智彦

複合する機能をまちで育む 今治ぐるみスタジアム

①For 世界*チームの名前を公募しちゃおう*

②For 市民と外の人“街全体がサッカー場!?
いまばりARサッカーゲーム”

③For 市民と選手“選手は市民と一緒に暮らそう”

大切にしたい3つの軸

全てのコンテンツに含まれる3つのポイント

- 町の発信地となるスタジアム
- 地域×FC今治×世界、の人々を繋げる
- 今治らしさ、この町にあるもの

仕掛け～いかに注目度を集めるか～

①For 世界

“チームの名前を公募しちゃおう”

「I WANT YOU」

「目的」
- 町内外から人々を呼び寄せる
- 今治の街から人を呼び寄せる

「概要」
応募期間：今治スタジアム開場前（2023年1月～2023年3月）
開場時期：開場前（2023年1月～2023年3月）
募集対象：世界から1万人
「効果」
- 開場前（開場まで多くの集客効果）（オープンイベント）
- 開場後（開場後、開場後、開場後）

仕掛け～いかに注目度を集めるか～

②For 市民と外の人

“街全体がサッカー場!? いまばりARサッカーゲーム”

「目的」
- 今治を訪れた人、まちを回ってもらうため
- 街全体の活性化

「概要」
コート：今治市第一公園
ゴール：東エリアの商店街
選手：市民と選手

「効果」
- 観光人口の拡大、街の活性化
- 街全体、サッカーを愛する街全体

仕掛け～いかに注目度を集めるか～

③For 市民と選手

選手はその校区で暮らし、子供サッカーのコーチ、自分の体験管理のレクチャーなどを行い、普段の生活と市民と共に暮らす。

市内の小中学校マップ

選手が所属する校区は、校区毎に再定が実施される

- 小学校校区は徒歩で概ね4km以内
- 市内の小中学校の数は26校、各校区に2人程度の選手が住む。

全体構造

アイデンティティ形成 今治ぐるみスタジアム

情報交換、試合・応援、プレイ、日常的交流

複合する機能をまちで育むスタジアム

全体イメージ

リピーター案

入場者数予告

リピーター案

▶ “無尽”の年間パスポート

※無尽とは：今治が行っている伝統的な共同出資形態。コミュニティが作れることから、情報交換・収集の場として利用されている。

ポイント

- ① 人数に応じた割引
- ② 個人ID(LINE+顔認証etc...)を取り、サポーターを判別
- ③ LINEにチーム情報を発信
- ④ スタジアムに顔認証の仕組みを入れ、顔パス入場
- ⑤ 提携店(飲食)にも判別システムを導入し、地域住民とサポーターの交流を促す
- ⑥ 年パスの使用頻度により、商店街での割引率が増加

入場者数予告

	2017	2023
目標	5000人/試合	1,5000人/試合
実現率	90%: 4500人	80%: 12,000人
地域	今治 中四国 他地域 海外	今治 中四国 他地域 海外
ARサッカー/名前募集	2000~2500	6000
選手会/無尽年パス	2500	6000
海外姉妹都市	0	0

①ARサッカー/名前募集
②選手会/無尽年パス
③海外姉妹都市

松本市人口：年パス購入者=25:1
今治市人口：16万人
16万*1/25=6400人





『記憶に残る』人とのつながりや 一体感を通じて知らない世界を知る旅

忘れられないはずの思い出が、忘れ去られていく

『記憶に残る』人とのつながりや一体感を通じて知らない世界を知る旅

修学旅行
今治×スタジアム
imabari×stadium

School trip

no.1 記憶の喪失

思い出せない修学旅行

忘れられないはずの思い出が、忘れ去られていく

歴史的建造物との対話 一回しか行くことがない

人と人との思い出がない 心揺さぶれる体験がない

修学旅行の現状

【小学6年生に、サッカー選手を地元サポーターと応援するなどの今治市民との深い交流を通して、リアルな知識・チームワークづくりを体に染み込ませます。】

no.2 目標

確実に100人呼べる仕組み

修学旅行シーズン } 被っている **4ヶ月**
Jリーグシーズン

リピート要因
定着率が高いのは**若年層**

性別による傾向差
男性:選手や試合内容項目(勝ち負け)に対する評価高い
女性:生の迫力・同行者のサッカーの詳しさ等、観戦環境に対する評価高い

年間**2000人**の修学旅行生

no.3 目的

ALL今治との濃密なつながりを

小学生に選手・サポーター・スタッフとのつながりの場

<試合前後のコンテンツに関して>

- 試合前
- 事前学習
- サッカー体験
- 選手によるルール説明
- 裏方ツアー
- 応援歌入る
- 選手紹介
- 試合中
- **応援** **一体感**
- ゴール前の感動を分かち合う
- 選手の社会を感じる
- 試合後
- 選手と写真撮影
- 選手の人と直接で喜びを分かち合う
- ボールを触る一瞬として

no.4 実行計画

今後の展望

小学生の修学旅行 中四国への拡大

中学生への展開

高校生への展開 遠足・研修 田舎留学

外国人向け観光 インターン生への展開

15,000人の達成





第13班

青木佑太朗・遠藤大介・大西真子・齊藤圭祐・八村美璃・八塚拓都・渡部魁人
ファシリテーター 八木輝義

イマバリズム Imabari + ism

今治の現状は、一体感が薄い

バリランド おんまくスタジアム

わくわく
非日常

現状
一体感がない

スタジアム
一体感

街全体
一体感

コンセプト・造船(船) / 今治城(掘)

応援



バリランド アスレチック+ツリーハウス



わくわく

非日常

スタジアム周辺の展開図



野外体験
野外交流
人の流れを作る

15,000人の内訳

来る理由	人数
コアなファン	3000
定期的に来る地元ファン	5000
アスレチック	3000
お花畑	2000
船型スタジアム	2000
合計	15000



第14班

秋山滉人・岡田廉・木村友輔・佐藤慶治・壺内結加・宮川翔次・山内唯香
ファシリテーター 佐藤利博

今治ファミリー

ビジョン

スタジアムを拠点とする
地域包括型クラブ(今治ファミリー)に愛着を持ってもらう

なぜやるのか

自分とのつながりを見出してもらうため
皆が集まれる場所・コミュニティが必要だから

家族とは何か

同じ場所・時間を共有しながら 安らぎや愛情を相互に供与する集団
→同じ時間を過ごせる場所を提供することによって住民を家族化
→今治ファミリーにとってもこのような場が必要
→スタジアム

スタジアム構想

テーマ：“マイホーム”
家の機能をメタファーとして模倣
衣食住の生活を共にすることで憩いや愛着の形成
サポーター同士だけでなく、選手とも共通体験

リビング→フィールド
寝室→グランピング
風呂→銭湯
庭→畑、フラワーロード
犬小屋→ペット広場
キッチン→カフェテリア
子供部屋→スポーツ施設

Bamilyカード

⇒今治ファミリーのメンバー(Bamily)の証。
スタジアム(家)の鍵として機能
最初に選手(今治ファミリーの一員)に
手渡されることで家族意識が芽生える。

基本無料
初回チケット無料
今治チャンネル
友達に紹介できる
今治市内の店舗クーポン
将来的には電子マネー化

会費を払ってくれた人には特典
特産品
チケット優待
雑誌

スタジアムを基盤として Bamilyを通じた 繋がりが連鎖するシステム



第15班

石原拓・清光陽介・木村美里・河野誓也・小松崎遥平・伏谷侑桂・矢野祥太
ファシリテーター 北川琢也



日常も非日常も楽しめる今治、今治のスタジアム

非日常

- ・祭
 - ・スマートバイク
 - ・スタジアムでおやすみなさい
- 10:00 商店街で自転車を借りる
 - 14:30 スタンプラリーが貯まる →自転車の色が変わった！！
 - 16:00 ユニフォーム！！
 - 18:00 FC 今治戦キックオフ
 - 20:00 試合終了 →選手とご飯
 - 22:00 グラウンドに寝そべて 星を見る

日常

- ・住めるスタジアム
 - ・働けるスタジアム
- 住む「本音で語れる仲間が欲しい」
「いつでも受け入れてくれる場所が欲しい」
働く「IT系、クリエイティブ系で挑戦する仲間が集まる場所が欲しい」

作りたい今治 ヨソ者、若者、バリっ子...乗務員の集う街



参加者アンケートまとめ

全体総評

95%の参加者からポジティブな評価をいただき、参加者アンケートからも、バリチャレンジユニバーシティという素晴らしい機会をいただいたと感謝の言葉をたくさん頂戴しております。今治のために、3日間不眠不休に近い話し合いを行い、講師の方々からありがたい言葉をいただき、これからの地方創生に明るい未来が見えるような参加者の成長が手に取るように理解できる感想です。

良かった点、新しい気づきや学びがあれば教えてください。

- 地方に全国の意識の高い学生が集まる機会は減多にないで、その点が素晴らしく良いと思った。(愛媛県・大学生)
- 今治に関心のある若者が多くいらっしゃるということが一番の気づきです。勿論、講師の方々をはじめ事務局の方から頂く意見はどれも刺激的なものでありました。加えて、今治の地に100名以上の若者が集まって、本気で考えるという空間がすばらしかったと思います。(今治出身・社会人)
- 会場の司会進行の方は情緒に富み、的確に全体の流れをリードしていました。また、自分のチームを含め各グループのファシリテーターの方の存在は不可欠でした。自分のグループでは、議論が煮詰まると、休憩を提案したり、簡潔なモデルに集約して現在の状況を示してくれたり、議論に置いてけぼりになりがちな高校生参加者にも話を振り、全体の雰囲気や良質を保っていました。そして、何より今治の地に集った、参加者・運営陣・講師陣の全員が、志高く、エネルギッシュな人で、この出会いができたことが実に有り難かったです。(愛媛県出身・大学生)
- 東京にいてもなかなか集まらないほど優秀でアツイ人たちが真剣に考えてくれていることと今治出身で外で活躍している人たちがいるということがわかったこと。(今治出身・大学生)
- 今治の人の生の声を身体で聞いて、面と向かって話をしないとわからないことだらけだということ。スタジアムやスポーツクラブなどやることはもしかしたら簡単な面やお金の面かもしれないけど、当事者になる住民や周りの組織・団体にとってその行いがどのような影響・効果を及ぼすのかを真剣に顔を見ながら話し合うべきだと強く感じた。今回の取り組みでは、今治の高校生と一緒に今治について話し合えたことがなにより良かった。彼ら、彼女らは、聞き出すとすぐ真剣に今治のことを考えている。とにかく熱い想いを持っている。どうにかしたい、誇れる町にしたいという強い想いがある、若く無限の可能性がある。ぜひ何か行うときに積極的に地域の高校生も交えて実施するとこれからの今治を考えるうえで素晴らしい機会になると思う。(大阪府・大学生)
- 班に一人高校生でしたが、班のメンバーやスタッフさんがサポートしてくれたのでとてもよかったです。大学生や社会人は自分にはない考えを持っていて話し合いをしていてとても面白かったし、自分も意見をきちんと伝えるようになりたいと思いました。(今治市内・高校生)

残念だった点、改善した方が良いと思われる点があれば教えてください。

- 班数が少し多かったかなと思います。講師の方に意見をもらう機会が少なくなってしまうたり、移動などの時間がかかってしまったように感じました。(今治出身・社会人)
- 地元の人と交流する機会がもう少しあれば、より良いイベントになると思います。(東京都・大学生)
- ほかの班との交流の時間がもう少しほしかった。そういうつながりを作るきっかけづくりなど。(大阪府・大学生)

今治に対する認識や印象に変化はありましたか？あれば、どのような変化が生じたか教えてください。

- 有名な土地なのでもっと活気ある地域だと思っていましたが、実際の今治の状況、シャッター街を見て、地方の衰退を目の当たりにし、地方活性化の重要性を改めて実感しました。(東京都・大学生)
- 予想以上に街中が活気づいていなかったという認識でした。今春にタオル美術館に足を運んだ時には感じなかった現実もこの目で見ることができました。しかし、接して下さった皆さんは普段僕達の周りの方以上に温かく、気持ちのこもった目をされており、本気でこの街を良くしていきたい、その一助になりたいという気持ちを湧かせてくれました。(東京都・大学生)
- 今治出身今治育ちなのに、今治の事を知らなかったし、知ろうともしていなかったけど、今回の活動で今治の今後に興味をもった。まだまだ変わっていける町なんだということがわかって、今治をよくしていきたいと思うようになった。

何かの形で今後も今治のまちづくりに関わっていくことに興味・関心はありますか？あれば、どのような形で関わりたいか教えてください。

- とても興味があります。自らのアイデアが現実のものとなり、その結果街が活気を取り戻すかもしれない可能性が十分にあるプロジェクトだと思います。社会人の為、長期間は難しいですが、東京での活動には積極的に参加させて頂きたいですし、合間を縫って今治の地にも訪れたいと思っています。(東京都・社会人)
- 実際に今回今治を訪れて、今治の人と顔を突き合わせて話をするととても魅力的な場所に感じた。何か今治のために貢献できるような人になりたいと思っている。どのようなかわかり方が適切かわからないが、来年度から就職し、社会人になる自分にとっては、休みのたびに今治を訪れることや、仕事で地方創生に関わるチャンスがあるのでそういったことからアプローチしてみたい。また、このような参加型のイベントに対しても、参加者として、あるいは、ファシリテーターとしてBCU一期生としての経験も踏まえて自分にできることがあればぜひ参加させて頂きたい。また残りの学生生活でも可能であれば何かFC今治で活動したい。
- 今治が地元である私は「今治とどう関わるか」を意識しながら過ごしていきたいです。今治を生活の拠点としなくとも関わり合いを持ちながら生活や仕事をするのが非常に簡単に行える時代になりました。形にはこだわらず、自らが貢献できるところで今治のまちづくりに関わり、地元を元気にすることで自分もパワーをもらえればと考えています。(今治出身・大学生)

地方で働くことや、地方創生プロジェクトに携わるなど、地方に対する興味・関心に変化はありましたか？あれば、その内容を教えてください。

- 今まででは地方創生といってもホットなテーマであるというイメージくらいしかありませんでした。しかし、実際に街を訪れ、地方都市の現状を目の当たりにし、何故地方創生が今こんなにも叫ばれているのかを身を持って知りました。この街に人と熱気を取り戻させられたら遣り甲斐や達成感はずいぶん大きいと思います。(東京都・社会人)
- 地方国立大学に所属し日頃から所謂地方創生について実際の場で取り組み、学んできました。その中で地方にこそあるこの先の可能性というものを感じており、地方に対する興味・関心を持っています。今回このBari Challenge Universityに参加したことで自分がどのように地方に関わっていけるのかというイメージが明確化しました。(今治出身・大学生)

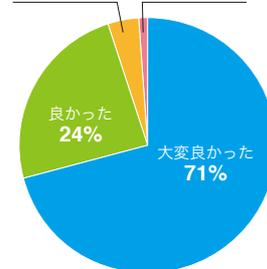
今後、何か新しいチャレンジをはじめたいと思いますか？あれば、チャレンジの内容と、どのような支援があればチャレンジしたいと思いますか？

- 今治をもっと知り、もっと人と出会い、もっと可能性を見出す努力をしなければと感じた。その努力の過程で地元の人とつながることは重要だと思った。そのため、造船ならこの人、タオルならこの人、といった情熱のある専門家を今治市 or FC今治が今回の参加者となつて支障があれば良いかと思う。そう動く事で、自然と爆発的なアイデアが今治に舞い降りると感じた。(今治出身・社会人)
- 今回集まったメンバーで、5年・10年ぐらい先に、実際に今治でソーシャルベンチャーを立ち上げてみたいと思った。もちろんサッカーやFC今治に関心を持って集まった人もたくさんいると思うが、特に県外参加者の多くは、今治やFC今治の実情を必ずしも知らないにも関わらず、3日間今治のために熱く議論できるだけの熱量を備えていたことに感動した。おそらく金銭面・設備面で援助をしていただければ、これだけの仲間と今治を変えていけるのではないかと確信した。(今治出身・大学生)

その他、ご感想、ご意見、ご質問等がありましたら、教えてください。

- 社会人や大学生に囲まれて最初は不安ではありましたが、班のメンバーはわからないことがあれば優しく教えてくれて一緒に班ではない社会人や大学生も、声をかけてくれたのでとてもやりやすかったですし、今治のことをあんなに多くの方がよくしようといういろんなプランを考えてくれて、地元に住んでる自分としては嬉しかったです。これから私も今治のよさを伝えるように頑張っていきたいと思いました。それと、三日間送迎やサポートをしてくれたスタッフさんありがとうございました。とても充実した三日間になりました。(今治出身・高校生)

普通4% 悪かった1%



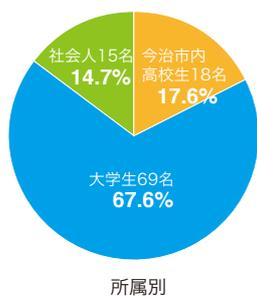
実行委員会組織体制

名誉学長	菅 良二	今治市長
学長	岡田武史	株式会社今治. 夢スポーツ 代表取締役会長
実行委員長	西原孝太郎	公益社団法人今治青年会議所 理事長
副実行委員長	渡部勝之	愛媛県東予地方局 今治支局長
副実行委員長	近藤寛司	公益社団法人今治法人会 会長
副実行委員長	西原 透	公益社団法人今治地方観光協会 会長
監事	新居田哲理	今治商店街協同組合 理事長
委員	矢野将文	株式会社今治. 夢スポーツ 取締役社長
委員	友田康貴	NPO法人今治シビックプライドセンター 代表理事
委員	菅 宏司	かすがいジャパン株式会社 代表取締役
委員	大木鉄兵	瀬戸内しまのわユース 会長
後援	今治市・愛媛大学・愛媛新聞社 今治市教育委員会・公益社団法人今治法人会・今治商工会議所 FMラチオバリバリ	

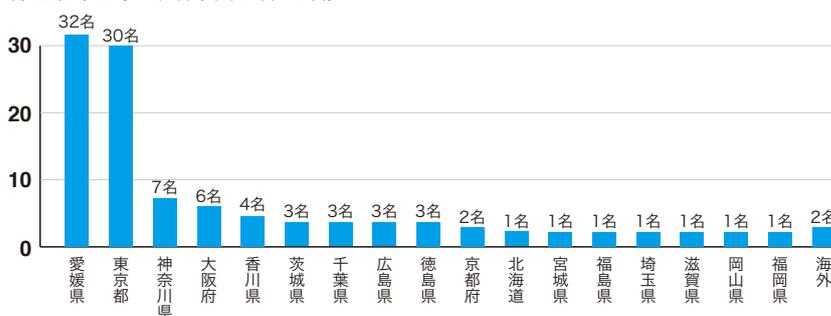
幹事会メンバー

運営統括プロデューサー	かすがいジャパン株式会社	杉田和也
ワークショップ担当	かすがいジャパン株式会社 今治市港湾振興課	菅 宏司 三谷秀樹
講師担当	株式会社今治. 夢スポーツ 株式会社今治. 夢スポーツ 株式会社今治. 夢スポーツ	矢野将文 碓 知也 中川悠美
会場設営担当	公益社団法人今治青年会議所 公益社団法人今治青年会議所 公益社団法人今治青年会議所 公益社団法人今治青年会議所	廣川怜史 大澤匠之輔 黒瀬太樹 廣田純一
食事対応担当	瀬戸内しまのわユース	大木鉄兵
アシスタントディレクター	瀬戸内しまのわユース 株式会社ニューコーサン データクリエイティブ・マークス	菅 森実 矢間保志 服藤貴彦
サポート	今治市営業戦略課 今治市営業戦略課 今治市営業戦略課	森 聖二 小原美乃里 黒河さゆり

参加者データ



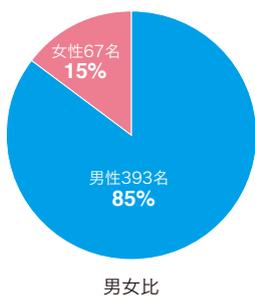
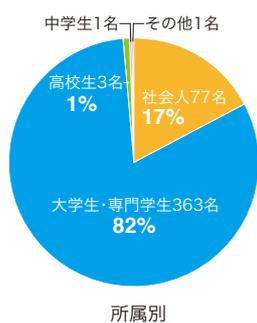
都道府県別(※今治市出身者43名)



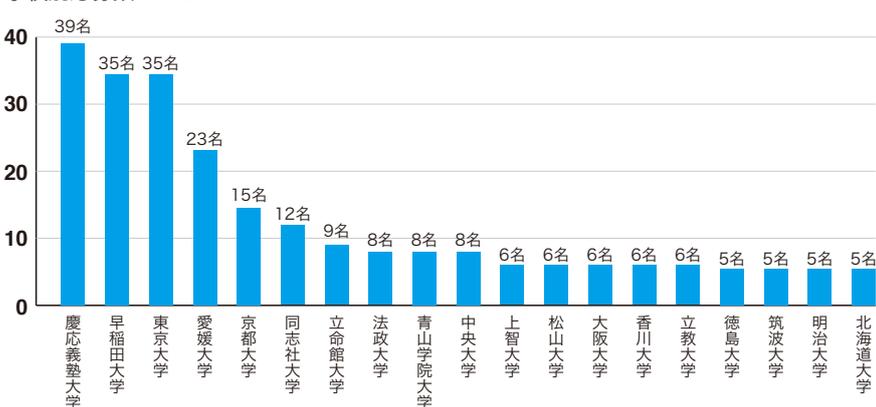
応募者データ

募集期間/2016年6月1日~19日(19日間)

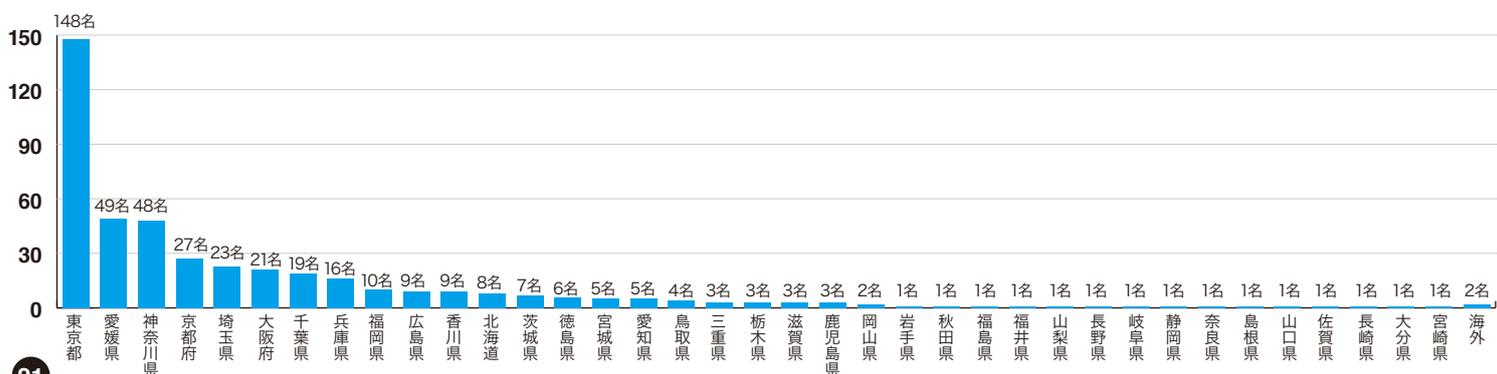
応募総数/445名(※今治市内高校生18名除く)



学校別応募数TOP20



都道府県別応募者数





5月25日	愛媛朝日テレビ	岡田オーナー発案の地域活性化プロジェクト - ニュース
5月26日	愛媛新聞	「岡ちゃんと今治活性化」実行委員会設立総会のもよう
6月29日	日本経済新聞	今治からチャレンジする若者育てたい
8月25日	愛媛新聞	FC今治岡田氏と地方創生を語ろう
8月27日	愛媛新聞ONLINE	バリチャレンジユニバーシティ開幕 今治
8月27日	あいテレビ	愛媛のニュース「バリチャレンジユニバーシティ2016」
8月30日	今治CATV	ickニュース
9月 4日	愛媛新聞	複合スタジアム無限の可能性 今治バリチャレンジ詳報
9月15日	サイボウズ式	「おかしいことをおかしい」と組織で言うには、1人で食えるだけの自立が絶対に必要-岡田武史x青野慶久
9月15日	BS11	報道ライブIN side OUT「岡田武史 今治から起こす日本サッカー革命」
9月18日	テレビ愛媛	「チャレンジ! FC今治岡田武史x若者x未来」
10月15日	今治CATV	BARI CHALLENGE UNIVERSITY バリチャレンジユニバーシティー2016

9月4日 愛媛新聞

10月5日 読売新聞

協賛パートナー

 **EURO SPORTS**

 **アクサダイレクト生命**
redefining / standards

KIRIN

 **今治造船株式会社**

株式会社
 **新来島どつく**
造船の未来を拓く

 **日本郵便**

ASAKAWA
SHIPBUILDING CO., LTD.
 浅川造船株式会社

イオンモール今治新都市

 **USHIO**
Refrigeration, Air-Conditioning & Marine Elevator

BEMAC

コンテックス

JAPANGIVING

 **Sweco**
四国溶材株式会社

Seal's Street Inc.
株式会社 セイズ・ストリート

 **Daiichi Printing Co., Ltd.**

 **フジグラン今治**

 **fh** 五感を育む すまいづくり
(有) 藤田ハウス

バリチャレンジユニバーシティにご協賛
いただき、誠にありがとうございました。

いずみ観光株式会社
今治CATV株式会社
伊豫運送株式会社

株式会社伊予銀行
株式会社愛媛銀行
愛媛信用金庫

ケーオー商事株式会社
株式会社しまなみ
JAおちいまばり

有限会社ビーワイド
株式会社平野
株式会社フィールド愛の和
株式会社ワシ屋グループ

相原電気有限会社
株式会社アイマーク
あおぞら警備株式会社
浅海設備工業株式会社
阿曾量店
今治国際ホテル
有限会社今治ゼーセル工業
株式会社今治日鉄
有限会社ヴェルデュール
株式会社エス・ピー・シー
株式会社越智工業所

越智無線パーツ有限会社
株式会社カスケード
唐子歯科医院
有限会社木下ソーイング
KTIグループ有限会社
有限会社近藤木工
坂本税理士事務所
和風レストラン笹
有限会社志賀商会
四国電熔工業有限会社
自動車ガラス長野

神野慎哉
合同会社GTO
社会福祉法人杉の子会
西洋菓子ツカサ
有限会社瀬戸内ギフト
セトウチ内装
大同自動車株式会社
田頭海運株式会社
武田ブロック
株式会社ティクワン

株式会社デコイチ
データクリエイト・マークス
株式会社つぼ吉
株式会社東海日動パートナーズ
登泉堂
株式会社南古堂
株式会社西田自動車
西部社会保険労務士事務所
波止浜興産株式会社
株式会社ハマダ工業

原印刷株式会社
廣川海事・行政書士事務所
株式会社ヘイワード
株式会社マイタウン今治新聞社
有限会社松繁塗装店
株式会社渡辺建設
社会福祉法人愛媛県共同募金会
矢野造船株式会社
株式会社ヤヨイ写真館
有限会社若宮産業